

# ～ やえがさたより ～

令和8年3月号

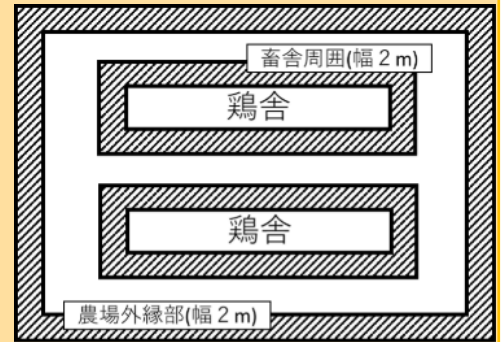
## ◆緊急消毒命令発令中！（期間：令和8年3月31日まで）

☆畜舎周囲と農場外縁部は2m以上の幅で地面が白く覆われるよう石灰散布してください。

（散布の目安：2m幅の場合、1袋で約15m）

☆繰り返し雨や水に濡れた状態や野外散布後**1週間程度**で消毒効果が減少するため定期的に散布をお願いします。

☆消石灰は強アルカリ性なので、マスク・手袋を着用して散布してください。



◆◆**全国の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生しています**

今シーズンの養鶏場における高病原性鳥インフルエンザ発生は、14道府県21事例確認され、約506万羽が殺処分されています。3月に入ってから、北海道で発生がありました。

また、野鳥においても、カラスなどで現在も感染が確認されており、野鳥の糞便に含まれる本病ウイルスによって、農場敷地内や鶏舎周囲が汚染されている可能性が高い状況にあります。渡り鳥の北帰行が終了する5月頃までは依然として警戒が必要です。

さらに国内において高病原性鳥インフルエンザに感染したアライグマやタヌキなども確認されています。感染野鳥と接触した野生動物が農場内にウイルスを持ち込む可能性もあります。改めて飼養衛生管理基準の再徹底をお願いいたします。

◆◆**全国の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生しています**

### < 記事の内容 >

- ・ 全国の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生しています
- ・ 高病原性鳥インフルエンザ発生予防対策について
- ・ 渡り鳥が移動しています、防疫対策の再徹底をお願いします
- ・ 定期報告書の提出をお願いします！
- ・ 「畜産環境保全のしおり」について

### < 添付資料 >

- ・ 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

## ◆◆高病原性鳥インフルエンザ発生予防対策について

今年度発生事例を踏まえ、家きん小委員会から発生予防対策が提言されました。以下の対策の徹底をお願いします。

### ①異状の早期発見・早期通報

発見や通報が遅れて農場内で感染が拡大すると、ウイルス量が増大し、周辺農場へのまん延リスクとなります。今シーズン発生農場では、死亡羽数の増加を大腸菌症やクロストリジウム感染症など別の病気と判断し、通報が遅れた事例がありました。

➡家きんの健康観察をしていただき、異状が見られた場合には、大腸菌症や誘導換羽によるものと即断せず通報をお願いします。

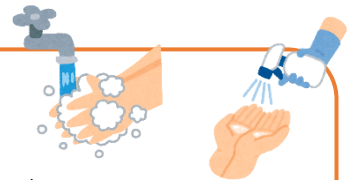
### ②農場へのウイルス侵入防止対策の強化

農場へのウイルスの侵入防止対策は、適切な対策とその維持・継続が重要です。

飼養衛生管理基準の継続的な遵守は、病原体の侵入リスク低減につながるため、自己点検により遵守状況の定期的な確認をお願いします。

- 飼養衛生管理区域に入場する者は、外部事業者も含め、例外なく手指の洗浄・消毒を行い、衛生管理区域内専用の衣服や長靴に替えましょう。
- 家きん舎に入るときには、糞や死体の搬出作業などで裏口から出入りする場合でも手指を洗浄・消毒し、家きん舎内専用の長靴に履き替えましょう。
- 家きん舎や堆肥舎の防鳥ネットを確認し、野鳥や野生動物が侵入する隙間や破損部位をなくしましょう。
- 車両消毒や踏み込み消毒槽では適切な濃度の消毒液を使い、定期的に交換しましょう。
- 家きん舎ごとに、使い捨ての手袋や専用の手袋を使い、定期的に洗浄・消毒・交換をしましょう。

また、とくに大規模農場（飼養羽数 20 万羽以上）では発生リスクが高いという研究結果が報告されています。さらに一步踏み込んだ衛生管理として、塵埃を介したウイルスの侵入を防止しましょう。



### ③野鳥の誘引防止

野鳥はウイルスを農場内に持ち込む主な要因の一つです。高病原性鳥インフルエンザの発生防止のために、野鳥を誘引しないことが重要です。

➡農場内に野鳥を誘引しないための対策をしましょう。

例：家きん舎や堆肥舎の防鳥ネット設置、死鳥や廃棄卵の適切な処理、農場内や周辺の樹木の除去や枝払い、こぼれた飼料の掃除、テグスの設置



### ④再発・密集地域での対策

過去に高病原性鳥インフルエンザが発生した地域については、気象条件や地形、野鳥などの野生動物の生息状況など、何らかの環境要因が揃っており発生リスクが特に高いと考えられます。また、家きん農場が集中している地域では、24/25 シーズンのように、ひとたび本病の発生が起こると続発をするリスクが高くなります。

➡大臣指定地域に所在する農場では、飼養衛生管理基準に定める野鳥対策や消毒薬の備蓄をお願いします。

## ◆◆渡り鳥が移動しています、防疫対策の再徹底をお願いします

高病原性鳥インフルエンザの発生リスクには、渡り鳥の移動が大きく関与していると考えられています。気温の上昇に伴い、渡り鳥の北帰行が本格化しているなか、2月21日に岩手県の採卵鶏飼養農場において、東北地方における今シーズン初めての高病原性鳥インフルエンザ（今シーズン20例目）が確認されました。

このことや、渡り鳥の北帰行の経路には東日本だけでなく西日本も含まれることから、現在、発生リスクの高い地域が全国的に変化していると考えられ、これまでに発生のあった地域はもちろんのこと、それ以外の地域においても警戒が必要です。

「高病原性鳥インフルエンザ発生予防対策について」をご参照いただき、高病原性鳥インフルエンザの発生状況を踏まえた防疫対策の再徹底をお願いします。

## ◆◆定期報告書の提出をお願いします！

家畜伝染病の発生予防やまん延防止等を図るため、年に1回、飼養衛生管理状況の報告が義務付けられています。未提出の方につきましては、家畜保健衛生課から送付した書類に必要事項を記入の上、提出をお願いします。（報告期限 令和8年3月27日(金)）

### 《 注意事項 》

※ 「農場平面図」や「埋却地確保状況(地番等)」、「埋却地予定地に関する同意書」が未報告の方は、必ず提出をお願いします。

また、畜舎等の増改築や増頭等を行った場合は、年度途中でも再提出が必要です。

※ 未報告の場合や飼養衛生管理基準が遵守されていないと判断された場合は、農場で伝染病が発生したときに国から支給される手当金が減額または不支給となります。

## ◆◆「畜産環境保全のしおり」について

畜産環境保全に関する知識の啓発を図るため、令和7年度版畜産環境保全のしおりが作成されました。下記のとおり群馬県ホームページへ掲載されていますので、ご活用ください。

### 畜産環境保全のしおり



目次

1. 家畜排せつ物の発生量と利用
2. 畜産環境問題の現状と対応策や事例
3. 家畜排せつ物法の管理基準遵守状況と農利用促進プラン
4. 畜産環境保全関係法令の概要
5. 補助事業・リース事業
6. 糞尿連携による堆肥の流通利用
7. 堆肥を流通させよう
8. 点検しましょう！農業環境規範

令和8年3月発行  
群馬県農政部長兼畜産課

掲載箇所 群馬県ホームページ（畜産課畜産環境係）

<https://www.pref.gunma.jp/page/9529.html>

※ 下記 QR コードからもご参照いただけます。



### 《疾病等の発生に伴う休日等の対応について》

休日等であっても家畜の異常が認められた場合は家畜保健衛生課あて連絡をお願いします。

東部農業事務所家畜保健衛生課（東部家畜保健衛生所）

〒373-0805 群馬県太田市八重笠町361-3

電話：0276-45-2041、FAX：0276-45-9994

※ 「やえがさだより」は、群馬県ホームページにも掲載しています。ご活用ください。

※ 畜産業を廃業された方に送付された場合は、家畜保健衛生課までご連絡ください。

# 令和7年度 国内における高病原性及び低病原性鳥インフルエンザ発生状況

## ○野鳥 1道15県119事例

※詳細は環境省HP参照

[https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird\\_flu/](https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/)

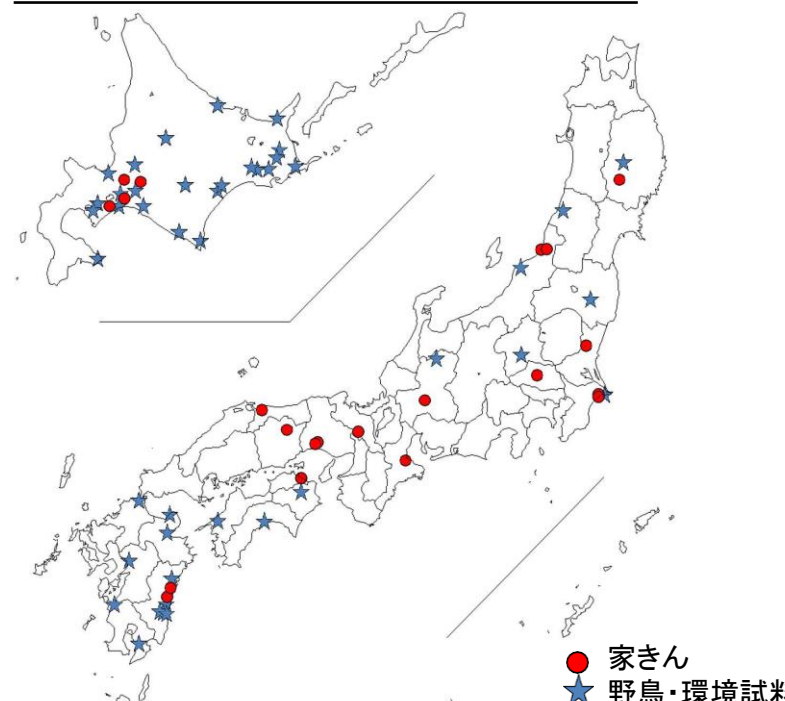
検体回収場所	検体回収日	種名	病原性	亜型
1 北海道苫小牧市	10/15	オオタカ	HPAI	H5N1
2 宮崎県日南市	10/22	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
3 北海道根室市	10/23	ハシトガラス	HPAI	H5N1
4 北海道浦幌町	10/25	タンチョウ	HPAI	H5N1
5 北海道千歳市	10/23	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
6 宮崎県延岡市	10/27	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
7 北海道根室地域	10/27	シマフクロウ	HPAI	H5N1
8 北海道標茶町	10/30	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
9 北海道鶴居村	10/31	タンチョウ	HPAI	H5N1
10 北海道中標津町	10/30	タンチョウ	HPAI	H5N1
11 山形県三川町	11/5	ノスリ	HPAI	H5N1
12 鹿児島県出水市	11/3	環境試料(水)	HPAI	H5N1
13 鹿児島県出水市	11/3	環境試料(水)	HPAI	H5N1
14 北海道標茶町	11/2	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
15 北海道浦幌町	10/31	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
16 北海道斜里町	11/2	オジロワシ	HPAI	H5N1
17 北海道別海町	11/4	ハクチョウ類	HPAI	H5N1
18 宮崎県宮崎市	11/5	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
19 宮崎県日南市	11/6	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
20 宮崎県国富町	11/6	ハヤブサ	HPAI	H5N1
21 北海道湧別町	11/7	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
22 鹿児島県出水市	11/10	環境試料(水)	HPAI	H5N1
23 鹿児島県出水市	11/10	環境試料(水)	HPAI	H5N1
24 新潟県新潟市	11/12	コハクチョウ	HPAI	H5N1
25 鹿児島県出水市	11/10	ナベヅル	HPAI	H5N1
26 福岡県北九州市	11/11	キンクロハジロ	HPAI	H5N1
27 群馬県高崎市	11/12	オオタカ	HPAI	H5N1
28 北海道湧別町	11/11	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
29 鹿児島県鹿屋市	11/12	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
30 北海道標茶町	11/12	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
31 北海道浦幌町	11/12	タンチョウ	HPAI	H5N1
32 新潟県新潟市	11/14	ハクチョウ類	HPAI	H5N1
33 福島県矢吹町	11/14	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
34 鹿児島県出水市	11/16	ナベヅル	HPAI	H5N1
35 鹿児島県出水市	11/17	環境試料(水)	HPAI	H5N1
36 鹿児島県出水市	11/18	ナベヅル	HPAI	H5N1
37 鹿児島県出水市	11/19	ナベヅル	HPAI	H5N1
38 鹿児島県出水市	11/20	ナベヅル	HPAI	H5N1
39 北海道旭川市	11/18	ハシトガラス	HPAI	H5N1
40 北海道湧別町	11/19	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
41 宮崎県日南市	11/19	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
42 宮崎県日南市	11/21	ヒドリガモ	HPAI	H5N1
43 鹿児島県出水市	11/21	ナベヅル	HPAI	H5N1
44 鹿児島県出水市	11/24	環境試料(水)	HPAI	H5N1
45 北海道札幌市	11/28	ハシトガラス	HPAI	H5
46 北海道釧路市	11/27	ハシボソガラス	HPAI	H5N1
47 大分県別府市	12/1	カイツブリ	HPAI	H5N1
48 鹿児島県出水市	11/26	ナベヅル	HPAI	H5N1
49 鹿児島県出水市	11/26	マナヅル	HPAI	H5N1
50 北海道芽室町	12/1	オオハクチョウ	HPAI	H5N1
51 鹿児島県出水市	11/30	ナベヅル	HPAI	H5N1
52 鹿児島県出水市	12/1	環境試料(水)	HPAI	H5N1
53 鹿児島県出水市	12/3	ナベヅル	HPAI	H5N1
54 高知県高知市	12/8	オナガガモ	HPAI	H5N1
55 鹿児島県出水市	12/7	ナベヅル	HPAI	H5N1
56 鹿児島県出水市	12/8	環境試料(水)	HPAI	H5N1
57 鹿児島県出水市	12/8	環境試料(水)	HPAI	H5N1
58 鹿児島県出水市	12/12	ナベヅル	HPAI	H5
59 鹿児島県出水市	12/15	環境試料(水)	HPAI	H5N1
60 宮崎県宮崎市	12/12	カモ類	HPAI	H5N1

※HPAI: 高病原性鳥インフルエンザ LPAI: 低病原性鳥インフルエンザ

## ○家さん 1道1府12県21事例 (令和8年3月23日15時現在)

※ 疑似患畜確認時の羽数

地域	疑似患畜判定日	用途	羽数(約)	亜型
1 北海道白老町	10/22	採卵鶏	45.9万羽	H5N1
2 北海道恵庭市	11/2	採卵鶏	23.6万羽	H5N1
3 新潟県胎内市	11/4	採卵鶏	63万羽	H5N1
4 新潟県胎内市	11/9	採卵鶏	28万羽	H5N1
5 宮崎県日向市	11/22	肉用鶏	4.8万羽	H5N1
6 鳥取県米子市	12/2	肉用鶏	7.5万羽	H5N1
7 兵庫県姫路市	12/16	採卵鶏	24万羽	H5N1
8 岡山県津山市	12/20	採卵鶏	43万羽	H5N1
9 京都府亀岡市	12/24	採卵鶏	28万羽	H5N1
10 茨城県城里町	12/25	採卵鶏	97万羽	H5N1
11 北海道由仁町	12/29	採卵鶏	0.6万羽	H5N1
12 埼玉県嵐山町	12/30	採卵鶏	24万羽	H5N1
13 宮崎県延岡市	1/2	肉用種鶏	0.6万羽	H5N1
14 兵庫県姫路市	1/8	採卵鶏	15.5万羽	H5N1
15 香川県東かがわ市	1/10	採卵鶏	2.4万羽	H5N1
16 三重県津市	1/13	採卵鶏	2.5万羽	H5N1
17 岐阜県関市	1/22	肉用鶏	2万羽	H5N1
18 千葉県旭市	1/27	うずら	10.8万羽	H5N1
19 千葉県旭市	2/20	採卵鶏	6万羽	H5N1
19関連 千葉県旭市	2/20	採卵鶏	2万羽	-
20 岩手県金ヶ崎町	2/21	採卵鶏	56万羽	H5N1
21 北海道安平町	3/5	肉用鶏	18.8万羽	H5N1



● 家さん  
★ 野鳥・環境試料

※ 野鳥・環境試料において陽性事例が確認された市町村をプロット